

「省エネ達人」が実践する、多彩な省エネ術。

群馬県玉村町 片亀光さん

特徴

- ご主人は環境カウンセラー「エアアクション21」審査員などを務める環境・省エネの専門家。
- 自分の知識を家庭での省エネ活動に活かすだけでなく、外部へもPRしている。
- 家庭内で考えられる省エネは、住宅の断熱化、気密化を含めほとんど行っている。

暖房・照明を重点的に徹底的な省エネ活動を実践。

群馬県玉村町にお住まいの片亀さんは、京都議定書が採択された1997年から電気の省エネに取り組んできたそうです。今回はこれまでの取り組みに加え



片亀さんご夫婦

て、厳冬の予報と灯油の値上がり傾向を踏まえ、暖房・給湯の省エネに力を入れました。

新築時から、天井、内壁、床下には断熱材を使用し、断熱雨戸、ペアガラスサッシなども設置しましたが、今回はさらに次のような暖房対策を行いました。

- ・天窓、小窓、浴室窓などに断熱シートを貼付。リビング窓下部に断熱マットを設置。
- ・玄関扉にビニールシートを、勝手口に断熱シートとロールスクリーンを設置。
- ・和室の畳下に新聞紙、リビングルームに断熱シートを設置。
- ・掘りごたつの内側に断熱シートを貼付。
- ・リビングの暖房は18℃に設定。同時に扇風機を回すことで室温を均一化させる。



掘りごたつの内側に断熱シートを貼付

また、節電対策として以下のような取り組みも行いました。

- ・高周波点灯ランプ、電球型蛍光灯への切り替え。不在室消灯。懐中電灯の活用。
- ・モップ活用で掃除機の使用を削減。
- ・洗濯時の洗剤濃度を調節し、すすぎ時間を削減。
- ・炊飯器は保温しない。電気ポット廃止。暖房便座なし。
- ・省エネタップ、エアコン、電子レンジなど不使用時にはプラグを抜く。

その他にも、野菜や麺類のゆで汁を浴槽の予備加熱に利用し、保温シートも併用して追い炊きを削減したり、保温調理鍋を活用して煮炊きと再加熱をするためのLPガスを節約する取り組みなども行



ゆで汁を浴槽の予備加熱に利用

ったそうです。その結果、1～3月の電力量は571kwhとなり、前年同期の591kwhから3.4%の削減。灯油の使用量は324リットルで、前年同期の360リットルから10%の削減を達成しました。

「省エネ達人」として各地で啓発活動を実施。

片亀さん一家は、光熱費節約効果を「エコ貯金」として貯めています。これまでのエコ貯金額は10年間の電気代だけで24万円を超えたそうです。こうした成果を「今年も貯めるぞエコ貯金」というテーマで、県内各地の公民館などで紹介し、受講者にエコライフを奨める講演活動も行っています。

また片亀さんは、環境省の「我が家のeco宣言 エコファミリー部門」で金賞を受賞している省エネ達人でもあります。その他にも、環境カウンセラー「エコアクション21」審査員、省エネ普及指導員、省エネルギー教室講師、(有)環境サポートシステム代表取締役、(株)環境評価機構代表取締役など、さまざまな肩書きをお持ちで、幅広い活動を通して省エネの普及に尽力しています。

【エネルギー削減率】 5.3%

プロフィール

住所：群馬県玉村町
 家族構成：4人(夫婦2人、大学生の娘2人)
 住宅様式：一戸建て
 省エネ活動について：以前から実践
 省エネナビ：設置